

- I 「神を愛する人々、(まず神に愛され、神の愛を受け続け、反省すべきことは反省し、悔い改め、神に立ち返り、神に赦され、神を愛する人々)  
すなわち、神のご計画に従って召された人々(神の御計画に従って神の救いの招きを受け、主を信じ救われた人々)  
のためには、神がすべてのこと(試練、苦しみ、困難、失敗も含む)  
を働かせて(混ぜ合わせ、ブレンドし、神に用いられ、神に支配され、神の御業により、偉大な神のなさる意味が、小さな私達には理解できない事がある事も認めたい。※時計の譬え。神は最善をなさる)  
益(すべてが自分の都合の良いようになるという益ではなく、文脈に答えがある。28節に続く29節に答えがある。つまり真の益とは、29節にある御子の姿に変えられ成長して行くという益。  
「私たちの益のため、私たちをご自分の聖さにあずからせようとして、懲らしめるのです」ヘブル12：10。神が働かれ、御業をなさるといふ益)  
としてくださることを、私たちは知っています」8：28。

II 試練、苦しみ、困難、失敗、心をくじき失望させる事、不都合と思える事さえも、神は益として下さる恵みを具体的に見て行きたい。

1. 困難を通して私達の心の目を覚まさせられるという益。私達にとり危険なのは、万事が順調に見え、変化もなく、なまぬるくなる状況である。しかし、上手く行かなくなることを通して、深く考えるという益を得る。今の状況を当たり前のように思い込み、神と人への感謝が足りなかったことに気づかせられる。本気で神に抛り頼む事を忘れて、知らず知らず自分が高慢になっていた事に気づく益。自分の罪の深さに気付く益。その分、主の十字架の恵みの深さを感謝する益。自分の小ささ、弱さ、もろさを教えられる益。最も大切な徳、品性の謙遜が与えられる益。砕かれた心が与えられる益。「神は高ぶる者を退け、へりくだる者に恵みをお授けになる」

ヤコブ4：6

2. 試練、苦しみを通して、すべてを支配しておられる神に、真剣に抛り頼む者に変えられる益。神ご自身(神の愛、恵み、慈しみ、憐み、優しさ、忍耐、寛容、思いやり、ご配慮、聖さ)を深く知る益。真剣に祈る益。信頼できる人に祈ってもらう益。私達には、順調に見える時、落とし穴がある。表面的には、祈っていても、本気で神に頼っていない時がある。自分の力を過信する事がある。すべての力、能力は、神が与えておられるおかげである事を忘れる。そんな時、試練や何をやっても思い通りいかない事は、生ぬるくなった私達を、もう一度神に近づかせ、神に抛り頼む者に変える益となる。「私たちは、非常に激しい、耐えられないほどの圧迫を受け、ついにはいのちさえ危うくなり、ほんとうに、自分の心の中で死を覚悟しました。これは、もはや自分自身を頼まず、死者をよみがえらせてくださる神により頼む者となるためでした」II コリント1：8、9。

3. 試練、苦しみ、病、失敗、辛さは、私達が、他の人を心から思いやる人に変えられるという尊い益となるように神は働かれる。※石の痛み。私達は、順調な時、心が高ぶり、弱さのある人、出来ない人への思いやりがなく、心の中で見下げたり、さばいたりする心が生まれる。神は、私達を愛しておられるので、人生の中で、順調な時ばかりを与えられない。高慢な鼻をへし折る失敗(失敗から学ぶ事の方が多

い。※スピード違反の教訓)、試練、どうして?と思う事が、神の御手で許されて私たちの身に起こる。これは、かえって私達を守る神の憐みである。自分自身が、深い痛みを経験しないまま、隣人に対して、思いやり、共感、理解、健全な同情を示す事は、非常に難しい。※介護。自分自身が同じような経験、痛みを通った事がない限り、辛い経験をしている人に、深い理解を示す事は難しい。神は、人々に対して、深い思いやり、共感、理解を持つ人に私達を変え続け成長させるために、時として、私達も、失敗や辛い経験をすることを許される。※私の証し(失敗・謙遜・思いやり・涙の祈り)。私達が、自分では望まないが、辛い経験を与えられる時、他の人への思いやり、理解度、態度が変えられる宝の益となる。すべては神の深い御支配の中で許されて起こる。「雀の一羽でも、あなたがたの父の許しなしには地に落ちることはありません」マタイ10:29。深い思いやりは、矢継ぎ早に、励ましの言葉を与える事ではない。あせって言葉を出すのではなく、相手の辛い気持ちに寄り添うことである。沈黙を恐れず、共にいる事である。もちろん、私達は、神ではないので、共にいる事にも限界がある事を互いに認めつつ。その場から離れても、祈り支える事が許されている事を感謝したい。涙を流し祈る。

4. マイナスに思える事もプラスに変えて下さる神。「あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました。それはきょうのようにして、多くの人々を生かしておくためでした」創世記50:20  
「私の身に起こったことが、かえって福音を前進させることになったのを知ってもらいたいと思います」ピリピ1:12

Ⅲ 励まし。ローマ8:28を本気で信じるなら、私たちの身に起こる事をコントロールできなくても、私たちの身に起こる辛い出来事の「受け止め方、捉え方」が変わる。私達が、神の御手にあるなら、無意味な、無駄な出来事は一つもない。神は、神の方法で働いて下さり、すべてを益にして下さる事を信頼して、残りの人生を主と共に歩ませていただきたい!